

REDDプラスの扉を開く！ 「カギ」となる技術の探求

開催日時・場所

平成27年 2月18日(水) 13:15～17:00 (12:30 受付開始)
イイノホール・カンファレンスセンター 4階Aルーム
(東京都千代田区内幸町) 東京メトロ 霞ヶ関駅前

講演・ポスターセッション

REDDプラス成功の秘訣を
最新の研究成果を講演と
ポスターで紹介します。

パネル・ディスカッション

有識者を交え、REDDプラス実施を
促進するための研究成果の活用、
今後の展開について討議します。

事前登録不要 (当日受付)



REDD 推進体制整備に関する研究成果発表会

REDD プラスの扉を開く！ 「カギ」となる技術の探求

日時；平成 27 年 2 月 18 日(水) 13:15～17:00

場所；イイノホール&カンファレンスセンター
4階 Room A

開会

1. 森林総合研究所 挨拶
2. 林野庁 挨拶
3. 研究の背景・経緯・概要（Cookbook、ガイドライン、普及啓発含む）
松本光朗（森林総合研究所 REDD 研究開発センター長）
4. REDD プラス実施を促進する最新研究成果
 - ① 雲取り技術が「カギ」だった！ 熱帯雨林：マレーシア半島部での研究成果
新山 馨（森林総合研究所 国際連携推進拠点長）
 - ② 季節性克服が「カギ」だった！ 落葉林をもつ熱帯林：カンボジアでの研究成果
清野嘉之（森林総合研究所 研究コーディネータ）
 - ③ バイオマス推定式が「カギ」だった！ 多様な森林：パラグアイでの研究成果
平田泰雅（森林総合研究所 温暖化対応推進室長）
5. ポスター セッション
研究担当者による最新の研究成果発表
（ 休 憩 ）
6. パネル・ディスカッション
REDD プラスに関する研究・技術開発とその活用に向けた今後の展開
座長 松本光朗（森林総合研究所）
（冒頭説明）森林モニタリングの最近の情勢について 平田泰雅（森林総合研究所）
パネリスト（敬称略、五十音順）
浦口 あや（コンサーベーション・インターナショナル）
奥田 敏統（広島大学大学院総合科学研究科）
宍戸 健一（国際協力機構 地球環境部）
堀 正彦（林野庁 計画課）
吉高 まり（三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社）
7. 閉会 挨拶